

従業員向け

令和7年度 児童発達支援評価表

令和8年3月20日作成

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要と思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	どちらでもない	わからない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要と思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	1	0	0	令和8年4月3日に環境の見直し（レイアウト変更）を実施予定。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	0	2	適切な人員配置となるよう調整を行っていく。（経過評価はとらない）
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0	1	0	子どもたちが集中しやすい環境となるようレイアウト（変更予定R8.4月）
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども運の活動に合わせた空間となっているか。	12	0	0	0	毎朝の清掃業務、月に1回の安全点検を実施し、お子様、保護者が安全安心して利用できるようにしている。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0	0	0	小集団での部屋と個室を準備し、お子様の状態に応じて環境を使い分けている。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	0	0	1	事業所会議、ミーティング内にて、業務改善について話し合い、その後の監督も実施するようにしている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	0	0	R7年度の自己評価表については、全職員が保護者に意見を把握し、質の向上に繋げていくように行う。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	0	0	月に1回の事業所会議・毎朝の朝礼・療育前のミーティング等、また個別やグループ間でのチャットワークにて、意見を出しやすい環境設定、その意見を反映した業務改善につなげるよう心がけている
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	2	2	現在、第三者評価は実施しておらず。今後、検討していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	0	0	0	法定研修以外にも、自発的に研修に参加することで自己研鑽、事業所の質の向上に繋げることを心がけている。今年度は、外部講師を招いて「性教育」について受講した。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	0	0	事業所内掲示・HPにて公開し公表している。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0	1	0	職員共有ツールにて、アセスメント、支援目標等を共有するようにしている。また、家族からの意見、要望などについても同様。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	1	0	職員共有ツールにて、子どもの支援にかかわる職員の意見を集約した上で、支援会議を実施している。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0	0	0	必ず支援計画書は共有し、日ごろの支援がきちんと計画に基づいて実施するよう児発管が管理している。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	0	2	担当セラピスト、指導員からの視点、家族からの支援を踏まえて、本児へのアセスメントを実施。その中に、フォーマル、インフォーマルアセスメントを実施。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0	0	0	児童支援計画書には、5領域他、移行支援、家族支援、地域支援が適切に行われるよう目標設定、支援内容を設定している。また定期的にモニタリングを行い、見直しを実施している。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	0	0	0	月に1回の療育会議を行い、プログラムの立案、共有を行っている。また活動実施後には、プログラムの振り返り（良かった点、改善点）を行い、質の向上につなげている。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	0	0	年間活動プログラムを作成し、療育のねらいをきちんと設定した中で、固定化しないように管理している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	0	0	適時、環境を使い分けながら療育を実施し、状況見ながら集団療育へ促すよう計画立てて支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	0	0	0	療育前にミーティングを実施し、今日のプログラム、前回利用時の様子（記録から読み上げ）他、注意事項を確認、情報共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	0	0	0	翌朝の朝礼時に、前日の療育についての振り返り、保護者からのお話を職員間で共有し、適切な支援に繋げている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0	0	0	毎療育時の記録は徹底している。また他、気づいたこと、職員間で話あった事等も入力し、記録の充実を図るようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0	0	0	保護者との面談、支援者間での振り返りを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	1	0	0	サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者と指導員または、担当セラピストが出席し、子供の状況を理解した者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	1	0	0	必要時は、市や医療、園や学校との連携を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	1	0	0	本人、家族に移行支援について提案し、書面、もしくは電話、訪問等で連携を図っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	/					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。						
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。						
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。						
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。						
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。						
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。						
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。							
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。							
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。							
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	0	0	毎回のフィードバック、児発管との定期面談、チャット、電話等を活用し、適時サポートを行っている。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	1	4	保護者同士での集まりは、開催できておらず。今後検討していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	0	0	適時対応している。必要時は、児発管との個別面談を実施している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12	0	0	0	ツイズリハビリ通信（1回/2カ月）発行 HUGチャットアプリにて、活動内容のアップ（1回/週）・児発管からの情報通信（1回/週）
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0	0	0	鍵付きの保管庫にて情報管理や個人情報漏洩に至らないよう十分に配慮している。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0	0	0	視覚支援や、環境への合理的配慮を行い、安心してご利用頂けるよう取り組んでいる。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	1	4	開所時に、地域向けの内覧会を開催した以降は、開催できていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0	1	0	定期的に訓練を実施している。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0	0	0	定期的に訓練を実施している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12	0	0	0	保護者からの情報、必要時は主治医に確認し安全に療育を受けることができるよう連携を図っている。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	1	0	利用契約時に、アレルギーについては聞き取りしている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0	1	0	不審者訓練等、年間研修計画書に基づいて実施
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0	1	0	年間安全計画書に基づいて実施
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	0	0	気づいたこと、起こってしまった事案に対して、職員間での共有、振り返りを行い、再発防止に努めている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	0	0	0	定期的に研修を実施。またモニターを通して、保護者にも見て頂くことで、安心な療育の提供を行っている。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	0	1	0	利用契約時に、安全が危ぶまれる場合のみ一時的な拘束が発生する可能性があることを伝え、同意頂いた際には署名を頂いている。	